



ほけんだより 10月号



令和5年 10月2日

青梅みどり第二保育園 保健室

青梅みどり第二保育園では、8月下旬からインフルエンザA型・新型コロナウイルス感染症の感染者が見られました。今年は、「感染症の数が減ってきたかな。」と思うと別の感染症の報告を聞く状況です。

最近、目ヤニや目の充血の子が眼科を受診して「はやり目（流行性角膜炎）」と診断される子が増えました。そのため、お子さんの目が充血や目やにが見られた場合は、登園せずに先に眼科受診のご協力をお願いします。眼科医に「保育園に行ってよい病気か」の確認をお願いします。

9月中昼間は汗ばむ日もありますが、朝夕はグッと冷え込むようになりました。お布団も洋服も衣替えの季節です。この時期は風邪をひきやすいので、体が冷えてしまわないようにきちんと下着を着て、上着などで体温調節をしましょう。

10月・11月の保健行事予定

10月5日（木）午前9時30分頃から

全園児健診（0歳から5歳クラス対象）

※当日は9時までに登園をお願いします。

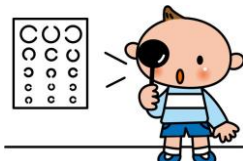
11月1日（水）午後1時30分ごろ

乳児健診（0歳・1歳クラス対象）

9月の感染症など	罹患者数
新型コロナウイルス感染症	2名
インフルエンザA型	4名
熱性けいれん	2名
はやり目	5名
水ぼうそう	1名
アデノウイルス感染症	1名

10月10日は

目の愛護デー



生まれてすぐはほとんど目が見えず、生後3か月で0.01程度。その後、徐々に発達し、6歳ごろに成人と同じ視力になると言われています。その後に視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分遊ばせ、外の景色をたくさん見せることでお子さんの視力を育てていきましょう。

こんな症状があれば眼科受診を

- ・顔を傾けて見る
- ・目を細めて見る
- ・黒目の位置がおかしい
- ・片目をつぶって見る
- ・テレビとの距離がいつも近い



水ぼうそうにご注意ください！

青梅みどり第二保育園では、9月中旬に水ぼうそうに罹った子の報告がありました。

初期症状は、38℃前後の発熱と全身の赤い発疹が現れます。この発疹は手足・顔など全身に広がり、かゆみの特徴です。

水ぼうそうの定期予防接種を2回受けても水ぼうそうにかかる人もいます。

学校保健安全法では、すべての発疹がかさぶたになるまでは、保育園に行くことが出来ないと定められています。水ぼうそうは感染力が強い病気です。

もし、水ぼうそうになったら再度受診して「保育園にいいか」医師に確認のうえ登園をお願いします。